

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
細江	18	圃場整備事業	R5.3.31
細江	18	雇用・人件費	R5.3.31
細江	18	高齢化	R5.3.31
細江	18	補助金の要件	R5.3.31
細江	18	白地の緩和	R5.3.31
細江	18	イノシシ、シカの被害	R5.3.31
細江	18	水田の管理	R5.3.31
細江	18	設備投資(機械価格高騰)	R5.3.31
細江	18	荒地、環境の改善	R5.3.31
細江	18	労働力不足	R5.3.31
細江	18	効率的営農、機械化	R5.3.31
細江	18	農地の確保	R5.3.31
細江	18	耕作地の集約	R5.3.31
細江	18	基盤整備	R5.3.31
細江	18	スマート農業(ドローン)ICT	R5.3.31
細江	18	中間管理	R5.3.31
細江	18	家族経営	R5.3.31
細江	18	担い手、後継者	R5.3.31
細江	18	安定した収入	R5.3.31
細江	18	水稲作をしている。担い手部会で中間管理をやっているが貸し手が多くなってきたのでやりきれなくなりそうだ。どうするか	R5.3.31
細江	18	農業従事者の増加	R5.3.31
細江	18	農地の維持管理による作物への病害獣害の減少	R5.3.31
細江	18	後継者不足、補助金、水田の集積はできている、畑の集積	R5.3.31
細江	18	耕作放棄地が増えている(耕作者がなくなる、後継者がいないできない)	R5.3.31
細江	18	小さい畑で効率が悪い、作業しにくい(作業道など)	R5.3.31
細江	18	所得補償、補助金、改植、借り手の管理不足	R5.3.31
細江	18	担い手・後継者不足、長時間労働のイメージ、効率化、労働と収入がみあっていない	R5.3.31
細江	18	自分の子供に農業をやらせたくないと思う現実がある。これを改善することができれば後継者も増える可能性がある。	R5.3.31
細江	18	農業には人に使われずに働ける。適度に時間に制限されないなどいいところもたくさんあるのでどのように伝えていくのか	R5.3.31
細江	18	条件の悪い耕作地(狭い)、水田はまだ条件が良い、ドローン、ICT化	R5.3.31
細江	18	病害虫、イノシシ、収入保障、改植補助、貸し手が増える一方で受け手が受けきれない	R5.3.31
細江	18	担い手が少ない	R5.3.31
細江	18	条件の悪い水田が耕作放棄地になり、そこを埋め立てると周りの水田が悪くなる	R5.3.31
細江	18	集積を進める	R5.3.31
細江	18	やはり集積、担い手の確保、水田区画を広くする	R5.3.31
細江	18	ドローン、ICTを導入するには資金が欲しい、機械が高いため補助が欲しい	R5.3.31
細江	18	山間地に耕作放棄地が見られる→基盤整備で解消できるかも	R5.3.31
細江	18	水田地帯は道路、水路ともに整備されている	R5.3.31
細江	18	水田は担い手への集積が進んでいる	R5.3.31
細江	18	畑が小さい、農道が細い	R5.3.31
細江	18	獣害がある、耕作放棄地の林化	R5.3.31
細江	18	要件不足で補助金が受けられない	R5.3.31
細江	18	農地の貸し手(水田)が増えている	R5.3.31
細江	18	補助金をもらうためには認定農業者及び収入保険の縛りがあり農業者全部が加入できない、全体の補助金がもらえたら	R5.3.31

地区	地区No.	出された意見（個人が特定される意見は除いてあります。）	意見掲載日
細江	18	みかんづくりで白地では改植補助金がもらいないため、古い木を改植をためらう人が多い	R5.3.31
細江	18	ドローン、収益アップ、道路整備、山は基盤整備、補助金の確保、後継者不足、パイロット事業、集積、機械の購入	R5.3.31
細江	18	農業後継者不足	R5.3.31
細江	18	耕作放棄地が雑木化し農地に戻せない	R5.3.31
細江	18	西気質地区開墾は、シカ、イノシシ被害と放棄地で農業が維持できない	R5.3.31
細江	18	農業者の所得保障がないと農業者を守ることはいできない	R5.3.31
細江	18	農地集積と補助金が農地規模拡大、労働時間	R5.3.31
細江	18	水田隣地の埋め立て問題、ドローン等IT機械化、農地と宅地の混在	R5.3.31
細江	18	耕作者減少の中、集積・公共工事を進めるための関係者の意見は	R5.3.31
細江	18	特にみかん園については道路、SSを使えるようにする事は	R5.3.31
細江	18	効率的営農、農地の確保の課題に水田においては水田協議会による中間管理事業でのうちの集積・集約が必要	R5.3.31
細江	18	集約によるまとまった農地でドローンやICTを活用した省力化で労働力不足を解消していく	R5.3.31
細江	18	農業者の所得保障	R5.3.31
細江	18	各地区の営農意欲の高い農業関係者の意見を積極的に取り入れることで耕作放棄地を減らす対策をお願いしたい。	R4.3.31
細江	18	耕作放棄地が増え、改良区の受益地から抜きたい要望が増えている。	R4.3.31
細江	18	高齢のため引退した老夫婦には定年し暇な暮らしをしている息子がいるが、農業をやる気はなく、結果耕作放棄地になっている。その問題を解消するのが耕作放棄地を減らす一番の手段と思います。	R4.3.31
細江	18	畑と道路の間にある側溝（排水路）に蓋が無く1年以内に1回くらいお年寄り運転の車が落ちたり、歩いていて足から落ちたり、足を怪我をして大けがになることが心配です。	R4.3.31
細江	18	自宅の周りに耕作放棄地が多く手入れが行き届かず遠くの地主の為、連絡等がつかない状態です。これからますますこの様な状態が増えていくのではと将来が気にかかります。	R4.3.31
細江	18	樹根、畑の草の放置等により病虫害被害が拡大	R4.3.31
細江	18	害獣による農作物の被害増加	R4.3.31
細江	18	耕作放棄地について借り手も積極的に募集してほしい	R4.3.31
細江	18	耕作がやりやすい農地が不耕作農地として利用されている	R2.12.21
細江	18	みかん、水田に次ぐ特産物が見えない	R2.12.21
細江	18	農地の環境が悪くなっている（人手不足で、側溝や農道の草刈）	R2.12.21
細江	18	山間地の農地は手がつけられない	R2.12.21
細江	18	農地を所有する負担解消方法	R2.12.21
細江	18	水田が雑木林と化しているが、長い間対策はできなかったのか	R2.12.21
細江	18	農業の専門家と特産物により、小農家でも農業が可能	R2.12.21
細江	18	農地を手放す	R2.12.21
細江	18	子供へ農地を残す	R2.12.21
細江	18	いつまで農地を所有するのか	R2.12.21
細江	18	田→高齢・後継者不足で貸したい農地面積と担い手が引き受ける意向のある面積が同等	R2.12.21
細江	18	畑→出し手の面積>担い手が引き受け意向ある面積	R2.12.21
細江	18	今後、耕作者が不足するとと思われる畑をどうするかを考える。放棄地化する前に、集積するチャンスでもあるか？	R2.12.21
細江	18	新たな特産物が必要？→ほぼみかんばかり	R2.12.21
細江	18	やりやすい所は、荒れる前に、誰かにまた作ってもらいたい	R2.12.21
細江	18	畑の一回がないと、やりたいと思う人もいないか？→うまくまとめて、大規模農家の法人化でやっていく？	R2.12.21
細江	18	パイプラインの日地部分のムダ水があり、電気を多く使用しているため、日地の部分の工事ができないか（※日地部分は、水路に水を流して水田に入れているためムダ水が多い）	R2.12.21
細江	18	水田耕作者がいないため、作ってくれる人があった場合、水田をくれてやる人がいる	R2.12.21
細江	18	後継者がいるけど、農業後継者がいない	R2.12.21
細江	18	山田の水田について、農業効率が悪いので耕作放棄が増えている	R2.12.21
細江	18	みかんは重いので、高齢になってくると軽い作物がいいと思う	R2.12.21
細江	18	水田よりは畑が多いと感じた	R2.12.21
細江	18	中山間地も多く、土地が分散していて、大規模は難しく、逆に台地の方はもっとまとめれば大規模になり、会社経営という形ができれば儲かる農業になるかと	R2.12.21

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
細江	18	後継者がいない	R2.12.21
細江	18	米を作ってくれる人がいないので、作ってくれる人が欲しい	R2.12.21
細江	18	集積する必要	R2.12.21
細江	18	畑の大規模化→耕作者不足	R2.12.21
細江	18	後継者の農業への関心	R2.12.21
細江	18	所有地水田が不要と感じている	R2.12.21
細江	18	耕作放棄地にさせないために何かできないか	R2.12.21
細江	18	畑と水田が混在している	R2.12.21
細江	18	借りて大規模化→管理できないことも	R2.12.21
細江	18	土地の集積、法人化→人手、設備	R2.12.21
細江	18	「儲かる農業」会社経営としての仕組みづくり	R2.12.21
細江	18	出口戦略、販路(JA頼みでない)	R2.12.21
細江	18	観光と合わせていく	R2.12.21
細江	18	水田集積→担い手の思いやり(借りたい人が多いため)	R2.12.21
細江	18	農地はいらない→引受け先を、どうするか	R2.12.21
細江	18	意識改革	R2.12.21
細江	18	放棄地の固定化、環境悪化	R2.12.21
細江	18	紹介できない放棄地化の防止(サポート)	R2.12.21
細江	18	小さい農家、生産物を工夫	R2.12.21
細江	18	田は集積が行われている	R2.12.21
細江	18	担い手の後継者、安心	R2.12.21
細江	18	一方で、畑の相談が多い	R2.12.21
細江	18	田が作れなくなった→あげる(権利設定ではない)	R2.12.21
細江	18	パイプライン化されている。池沼の水がムダ(白地)	R2.12.21
細江	18	農地→ソーラー、後継ぎが会社員	R2.12.21
細江	18	小規模や高齢化	R2.12.21
細江	18	耕作放棄水田の雑草が茂り、農道や用水路に悪影響を及ぼしている。	R3.1.8
細江	18	区画が小さく配水不良の水田ほ場もあり、大型機械での作業が困難	R3.1.8
細江	18	農道の劣化	R3.1.8
細江	18	農道の畦畔に樹木が茂り通行に悪影響がある。主に民地だが公有地でもみられる。	R3.1.8
細江	18	直売を行っているが駐車場が少なく、客の路上駐車により警察から注意を受けている。	R3.1.8
細江	18	農地の集積	R3.1.8
細江	18	労働力の確保	R3.1.8
細江	18	農薬のドリフト対策	R3.1.8
細江	18	畦畔撤去してもらいたい。	R3.1.8
細江	18	農地を借りる方は畔の管理にも気を使ってもらいたい。畑まわりの草草が害虫の住処になる。	R3.1.8
細江	18	現在耕作地域がかなり広がっており地域ごとにある程度まとめて増やしていきたい。一枚の面積も2反程度にしていかないと非効率のため耕作地の交換も視野に入れたい。	R3.1.8
細江	18	道路の側溝に蓋がなく作業性が悪い。このような畑を借りようと思わない。	R3.1.29
細江	18	自治会に申請すれば道路側溝のふたをかけてもらえると聞いたが、家もなく通学路にもなっていないので理由不足で申請できないようだ。	R3.1.29
細江	18	県押しの青島みかんを増やしているが、今年は予想以上に収穫量が多く、貯蔵庫不足になってしまった。屋外では貯蔵性が非常に悪く、安いみかんになってしまった。青島を増やすときは貯蔵庫を増やさないといけない。	R3.1.29
細江	18	田んぼ横の側溝のつなぎ目に隙間があり水切りができない。コンバインが田んぼの中で動けなくなってしまう。	R3.1.29